

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト  
試行技術の評価結果(技術 I)

技術 I : データを活用して土木工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
1	(株)堀口組 (株)環境風土テクノ (一社)北海道産学官研究フォーラム産学官CIM・GIS 研究会 (株)トライポッドワークス 北海道大学 立命館大学	一般国道231号 増毛町 大別苅トンネル補修外一連工事	C
2	五洋建設(株) 大阪大学大学院 日本システムウエア(株) (株)ネクストスケープ (株)日立システムズ	国道106号 与部沢トンネル工事	A
3	(株)安藤・間 日本マルチメディア・イクイップメント(株) 富士ソフト(株) 計測ネットサービス(株) 宮城大学	二級河川大槌川筋大槌の1地区ほか河川災害復旧水門土木工事	A
4	(株)竹中土木 (株)演算工房 計測技研(株) 神戸大学	東北中央自動車道上保原トンネル工事	A
5	(株)大林組 芝本産業(株)	H30鬼怒川左岸船玉伊佐山地区整備工事	B
6	(株)フジタ ジオサーフCS(株)	新三国トンネル工事	B
7	町田建設(株) (一社)日本建設機械施工協会施工技術総合研究所 福井コンピュータ(株) 株式会社興和	H30小出維持管内防災工事	B
8	戸田建設(株) (株)ケーアイテクノロジー (一財)建設物価調査会	平成30年度302号緑地共同溝内部構築工事	C
9	(株)IHIインフラ建設 オフィスケイワン(株) (株)アイティーティー (株)インフォマティクス 千代田測器(株)	大野油坂道路九頭竜川橋上部工事	A
10	西松建設(株) (株)ビュープラス ジオマシンエンジニアリング(株)	木原道路内畠トンネル工事	A

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト  
 試行技術の評価結果(技術 I)

技術 I : データを活用して土木工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
11	(株)加藤組 カナツ技建工業(株) 福井コンピュータ(株) ライカジオシステムズ(株) (株)山陽測器 (株)ジオテックス中国	安芸バイパス清谷高架橋第2下部工事	A
12	清水建設(株) (株)演算工房	熊本57号 滝室坂トンネル西新設(一期)工事	A
13	林建設(株) RTK研究会 第一工業大学 (株)梅コンサル	大島地区上流河道掘削工事	A

【凡例】

- A: 試行は十分な成果があり、技術の導入効果や社会実装の実現性について高く評価できる
- B: 試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される
- C: 試行は一定の成果があるが、技術の社会実装には更なる技術開発や課題解決が必要
- D: 試行に成果があったとは言い難い(該当無し)

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト  
 試行技術の評価結果(技術Ⅱ)

技術Ⅱ: データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
14	岡三リビック(株) 北見工業大学 (株)森川組	函館新外環状道路函館市上湯川西改良工事	C
15	(株)浅沼組 (一財)先端建設技術センター 北海道大学 名古屋大学 (株)ミオシステム	H30・31国道51号神宮橋架替鹿嶋側橋梁下部他工事	B
16	(株)東京建設コンサルタント 奈良建設(株)	H30東埼玉道路大川戸地区改良他工事	B
17	金杉建設(株) (株)アクティブ・ソリューション (株)創和	H30幸手地区堤防整備等工事	B
18	(株)奥村組 大阪大学大学院 (一社)日本建設機械施工協会施工技術総合研究所 (株)コンポート 伊藤忠テクノソリューションズ(株) (株)演算工房	千代田幹線工事	A
19	JFEエンジニアリング(株) (株)ACES	中部横断塩之沢川橋上部工事	A
20	小柳建設(株) (株)小松製作所	大河津分水路山地部掘削 その6工事	B
21	清水建設(株) シャープ(株)	妙高大橋架替下部その4工事	A
22	(株)NIPPO (株)横河技術情報	北陸自動車道 H30上越管内舗装補修工事	B
23	(株)大林組 伊藤忠テクノソリューションズ(株)	冠山峠道路第2号トンネル工事	B

建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト  
 試行技術の評価結果(技術Ⅱ)

技術Ⅱ: データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

No	コンソーシアム	試行工事	総合評価
24	大成建設(株) 成和コンサルタント(株) 横浜国立大学 ソイルアンドロックエンジニアリング(株) パナソニックアドバンステクノロジー(株) エム・エス・ティー(株) 応用技術(株)	天ヶ瀬ダム再開発流入部本体他建設工事(3期工事)	A
25	(株)愛亀 (株)環境風土テクノ 宮城大学 可児建設(株) 立命館大学 応用技術(株)	平成31-32年度 松二維持工事	B

【凡例】

- A: 試行は十分な成果があり、技術の導入効果や社会実装の実現性について高く評価できる
- B: 試行は一定の成果があり、技術の社会実装に向け今後の技術開発が期待される
- C: 試行は一定の成果があるが、技術の社会実装には更なる技術開発や課題解決が必要
- D: 試行に成果があったとは言い難い(該当無し)